

阿南っ子



由布市立阿南小学校（阿南幼稚園）

学校通信 第 17 号

平成29年 8月6日（日）

文責 校長 阿部 宰士

8月6日、登校日、そして平和の大切さを考える日でした

今日は登校日でした。

久しぶりに会った阿南っ子たちは元気でした。

今日までの16日間の夏休み期間中、阿南っ子たちは、勉強に遊びに、そして家のお手伝いに、スポーツに、習い事に、いろいろな体験に頑張っていることと思います。



夏休み中、学校を訪ねて来て、友だちと一緒に宿題をしたり、先生に勉強の十分でないところを教えてもらったりしている阿南っ子たちもいます。久しぶりに会った阿南っ子たちは元気そうでした。

広島での平和祈念式典を各教室のテレビで見ました。

8時15分には、全員で黙祷をしました。

子ども代表による「平和への誓い」を、みんなでしっかり聞きました。広島市の小学6年生の竹舛直柔さん、福永希実さんの言葉を、しっかり受けとめました。



竹舛直柔（たけますなおなり）さん、福永希実（ふくながのぞみ）さんの言葉の一部には、「未来の人たちには、戦争や原子爆弾の体験はひつようありません。でも、戦争や原子爆弾の怖さ悲惨さを学び、平和の大切さを考えていくことは絶対に必要です。」という内容がありました。これからの未来を生きる子どもたちに、大切なものをしっかり見つめさせ、考えさせてあげなければいけないと強く思いました。

平和祈念式典を見終えた後、全校で平和集会を行い、6年生が修学旅行の長崎で学んだことを発表してくれました。

そして、その後、各学年で、発達段階に応じた内容で、平和授業を実施しました。

ぜひ、子どもたちがどんなことを感じ、考えたのかを聞いてあげてください。



《保護者の皆様方へ》

本日はお休みの日にも関わりませず、平和授業のために子どもたちを登校させていただいて、本当に有り難うございました。子どもたちは大切なことを学んでくれたと思います。

夏休みも折り返しが近づきました。くれぐれも、事故にあわず、病気やケガに気をつけて、残りの24日間を大切に過ごさせてください。

8月20日（日）の環境整備作業は、大変お世話になりますが、何とぞよろしく願いいたします。